



**ちとせエコ通信
「エコつう」**

第 2 号

平成22年 5月

発行：千歳市

環境課 ISO管理係

電話(24)0591

廃棄物対策課資源循環推進係

電話(23)2110

「ECOちとせ」認定制度を見直しました

アンケート調査へのご協力ありがとうございました

「ECOちとせ」認定制度は、地域での環境配慮活動の取組を広げるために、平成19年4月に市が開始した制度です。このたび制度開始から4年目を迎えるにあたり、利用しやすく、より環境負荷低減に役立つ制度にするための見直しを行いました。

見直しにあたり行った認定事業所のアンケート調査やエネルギー等の削減状況に関する調査では、多くの事業所で取組の効果を実感しており、実際に取組項目としているエネルギー等の合計量は、取組前の年と比較すると全ての項目で削減が進ん

でいることが確認できました。

ECOちとせ認定制度開始後1年以上取組を継続している事業所が2年間で削減した合計エネルギー量は、二酸化炭素(CO₂)排出量に換算すると、図1のとおり223.1トンになります。CO₂排出量の削減割合では、図2のとおり重油がほぼ半分を占めており、暖房使用抑制の取組が大きな効果をあげていることがわかります。一般家庭1世帯あたりの排出量は年間約2トンですので、今回のエネルギー削減量は、111世帯分以上のCO₂排出量を削減す

る結果となりました。
調査の結果は、市ホームページ「くらし」→「環境」のページの「ECOちとせ認定制度に関する調査報告書」でご覧になれます。

図1 ECOちとせ認定事業所19事業所のこの2年間のCO₂排出量

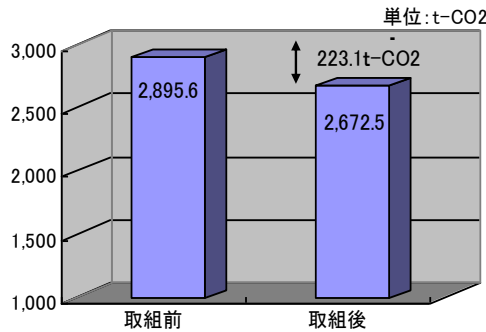
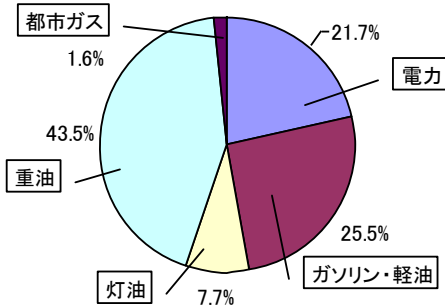


図2 ECOちとせ認定事業所のCO₂排出量削減割合



「ECOちとせ」改正点

平成22年4月から、ECOちとせ認定制度の一部を次のとおり変更しました。

- 1 認定期間満了日について
認定期間の満了日を月末日に統一します。
 - 2 更新手続きについて
認定の更新手続きは、認定の有効期間が満了する2か月前から1か月前の間に更新書類を提出することになります。
 - 3 各様式の改正について
各様式の一部を改正します。
- ※改正内容の詳細は、環境課 ISO管理係（電話：24-0591）へお問い合わせください。

環境パネル展開催中！

5月22日に千歳市で日中韓三方国環境大臣会合が開催されます。
5月10日から20日までの間、市役所1階の市民ホールにおいて、環境大臣会合の開催を記念して「環境パネル展」を開催しています。

循環型社会に貢献する「千歳市エコ商店」

循環型社会とエコ商店

エコ商店の取組で、ノーレジ袋やリサイクルの活動が広がっています

循環型社会とは、製品の廃棄の抑制、適正な循環的利用や処分により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる社会をいいます。

千歳市は、循環型社会を形成していくために、ごみの発生抑制や地球環境にやさしい再生品の販売など、左の取組項目のうち3項目以上に取組む商店を「千歳市エコ商店」

エコ商店の取組項目

- ①包装の簡素化
- ②買い物袋の持参奨励
- ③エコマーク商品等の再生品や詰替え製品の販売促進
- ④トレー、紙パック等の資源物の店頭回収
- ⑤広告用紙、事務用紙等への積極的な再生紙使用
- ⑥消費者へのリサイクルの奨励
- ⑦従業員へのごみの減量やリサイクルの教育の実施
- ⑧そのほか、店の創意工夫によるごみの減量やリサイクルの推進

進むノーレジ袋

レジ袋を作るには、たかさんの石油が使用されます。左下の絵のとおり、レジ袋は国内で年間3百億枚、それを作るための石油は6千万キロリットルも使われています。

消費者に買い物袋の持参とレジ袋の受取辞退を奨励する「ノーレジ袋運動」は、限りある資源の保護とごみの減量につながります。

エコ商店認証店の皆さんのご協力により、市民の皆さんのレジ袋辞退についての意識が確実に定着してきます。

みんなでリサイクル！

エコ商店認証店では、店頭などで回収した資源物をリサイクル製品の原料として再利用するため分別を行うところや、不要な紙の裏面を従業員の連絡用紙や、メモ用紙などに有効活用しているところなど、リサイクルに積極的に取り組む、資源保護とごみの減量を進めている店舗があります。こうしたリサイクルで回収された資源物は、下のとおり有効に活用されています。

レジ袋を作るために石油が消費される



地球温暖化白書より

回収された資源物のゆくえ

- ペットボトル 500ml 5本→Yシャツ1枚や文房具や新しいペットボトルに
- 牛乳パック6枚→トイレットペーパー1個や再生紙・再生段ボールに
- 空き缶→新しい缶や鉄製品に



編集後記

▼「ECOちとせ」認定制度が開始から4年を迎えるにあたり、制度の見直しを行いました。今後も事業所皆様のご協力のもと、取組の拡充をはかっていきたいと考えています。

▼今回、エコ商店のおもな取組と効果についてご紹介しました。環境センターでは、今年も7月の環境フェスティバル、10月の環境フェアに出展し、エコ商店やノーレジ袋運動の取組を紹介する予定です。エコ商店の皆さんには今後とも循環型社会の形成にご協力願います。